

Case Study CommVault導入事例

バックアップ・リカバリ



複合システム検証センター「GARAGE」の バックアップ業務にCommVault Simpanaを活用 運用管理の簡素化と大幅時間短縮を実現

導入前までの経緯

- ・サポート業務用仮想環境のバックアップ／リストアに多くの工数と時間を要していた。
- ・大量の仮想サーバ群を効率的に保存できる環境を構築する必要があった。

導入後に期待される効果

- ・vCloud Directorの構成情報も含めた一元的なバックアップ／リストアを実現。
- ・重複排除機能の活用により、バックアップデータの容量を約1/8に削減。



株式会社ネットワーク

設立：1990年8月1日
資本金：5億8500万円
URL：http://www.networld.co.jp/
業種：情報・サービス
事業概要：先進的なIT製品／サービスを提供するITソリューション・ディストリビューター。



株式会社ネットワーク
SI技術本部 ストレージ基盤技術部 兼
ソリューションアーキテクト課
部長
渋谷 一郎



株式会社ネットワーク
SI技術本部 ストレージ基盤技術部
ストレージソリューション2課
課長代理
松村 達也



株式会社ネットワーク
SI技術本部
カスタマーサポートセンター
係長
亀田 将亮

最新ソリューションの導入を 強力に支援する「GARAGE」

業界をリードする「Value Added Distributor」として、幅広い領域にわたるICTソリューションを展開するネットワーク。そのビジネスに大きな役割を果たしているのが、最新ソリューションを自由に検証できる複合システム検証センター「GARAGE」である。

SI技術本部 ストレージ基盤技術部 兼ソリューションアーキテクト課 部長 渋谷 一郎は、その概要を「システム構築をスムーズに進めるためのご支援を提供するのがGARAGEの役割。パートナー様の事前検証や、新製品のハンズオンセミナーなど、様々な形で施設をご活用頂いています。現在はFlexPodとVSPEXを中心とした環境をご用意していますが、それ以外の製品との組合せ検証も可能です」と説明する。

複雑な検証を効率的に進められる上に、場所や機材を自前で用意する必要もないことから、数多くの案件で活用されているとのこと。渋谷は「当社ではその他に、製品購入後のキッティング作業などをご支援する施設「PIC」(Pre Integration Center)も有していますので、検討から構築まで一貫したサポートをご提供できます」と胸を張る。

バックアップ運用の課題解消に 「CommVault Simpana」を活用

このように円滑なソリューション導入に貢献するGARAGEだが、実はもう一つ重要なミッションを担っている。それは、導入後のシステムに対するサポート業務用インフラとしての役割だ。SI技術本部 カスタマーサポートセンター 係長 亀田 将亮は「万一トラブルや障害が発生した場合、当社ではGARAGE上にお客さまと同じ環境を構築して再現を試みま

す。OSやパッチのバージョンなども完全に一致した環境を専任エンジニアが分析することで、対応のスピードアップを図っているのです」と語る。

とはいえ、こうした取り組みを進めていく中では、様々な課題も生じていた。特に問題になっていたのが、サポート業務に使用する仮想マシンのバックアップ／リストアだ。亀田は「基本にお客さま固有の環境については、その都度スクラッチ&ビルドを行います。AD/Exchangeサーバや各種製品の基盤環境など、標準的に利用されるようなものについてはバックアップデータを用います。そして、このバックアップ／リストア作業に、多くの工数が掛かるようになっていたのです」と振り返る。

ネットワークでは、自社プライベートクラウド基盤の統合管理ツールとして「VMware vCloud Director」(vCD)を活用している。しかし従来の環境では、vCD内の仮想マシン単

位でしかバックアップを行うことができず、vCD自体の構成情報については自前で作成したスクリプトを定期的に行うことで取得していた。そして仮想マシンをリストアする際には、一度VMware vSphereへのリストアを行った後、さらにスクリプトで収集した構成情報を見ながら人手でvCD環境へ戻していたのだ。

セキュアなマルチテナント環境を実現できるvCDの利点は非常に大きいですが、とはいえバックアップ/リストアの工数が高むのも問題である。そこで、こうした課題を解消すべく新たに導入されたのが、データ保護、アーカイブ、レプリケーションなどの多彩な機能を単一のプラットフォームで実現するCommVault社のデータ統合管理ツール「Simpana」だ。

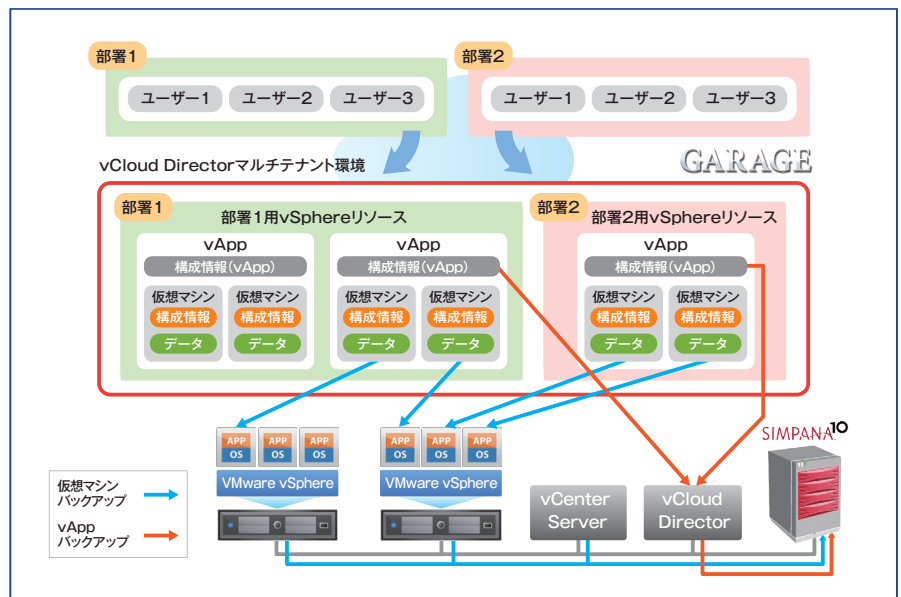
SI技術本部 ストレージ基盤技術部 ストレージソリューション2課 課長代理 松村 達也は、その理由を「Simpanaは、vCDの構成情報も含めた一元的なバックアップ/リストアが実現できる数少ない製品であり、重複排除機能によるデータ容量削減などのメリットも期待できます。サポート部門の課題解消にも大きな効果が見込めると考え、今回の導入に踏み切りました」と説明する。

作業時間を飛躍的に短縮 保存データ容量も1/8に

サポート部門全体ではおよそ1000台規模の仮想サーバを管理しているが、今回はまず優先度の高い30台の仮想サーバを対象として選定。これをvCDの構成情報も含めて丸ごとバックアップしている。

「サポート部門のスタッフは、仮想マシンを作ったり壊したりという作業には慣れていますが、とはいえ、以前ハードウェア障害でvCDの環境そのものがダウンしてしまい、その復旧に大変苦労したことがありました。お客さまへの迅速・確かな対応が我々に課せられた使命ですから、こうした心配をしなくて済むようになったのはありがたい」と亀田はにこやかに語る。

また、バックアップ/リストア作業の効率化にも大きく貢献している。SI技術本部 クラ



ウド基盤技術部 プラットフォームソリューション課 染谷 文昭は、「Simpanaには重複排除機能に対応した合成フルバックアップ機能『DASHフル』が備わっており、以前であれば約3時間程度掛かっていたサーバ30台分・約800GBのフルバックアップを、30分程度で実行できるようになっています。従来なら半日程度掛かっていたリストア作業も、現在では2～3時間で実行することができます。重複排除の効果も大きく、ストレージ上の実容量は約100GBと1/8程度しか消費していません」と強調する。

また、従来は、VMware vSphereのリストア作業とvCD環境へ戻す作業とを、それぞれ別々のエンジニアが行っていたが、現在ではこれも一人で行うことが可能になった。松村は「現時点ではSimpanaに精通した担当者がこの作業にあたっていますが、Simpanaにはエンドユーザー自身がWebコンソールのチェックボックスにチェックを入れるだけで、リストアが行えるような機能も備わっています。将来的にはこうしたものの活用も視野に入れ、利便性のさらなる向上を図っていきたい」と語る。

自社実践で得たノウハウを ソリューション提供に活かす

このようにバックアップ/リストア業務の課題を無事解消したネットワークだが、今後

はSimpanaを活用したソリューション提供も推進していく。Simpanaには今回紹介したもの以外にも、ストレージと連携したSnapshotやファイルレベルでのリストア、遠隔地へのレプリケーションなど、多彩な機能が備わっている。これらと自社実践で培ったノウハウを組合せ、より最適なバックアップの実現に貢献していく考えだ。

「クラウド事業を展開するサービスプロバイダや、大手企業の大規模プライベートクラウド環境など、vCDを導入・活用されている企業にとってSimpanaは非常に有効なソリューションとなります。当社には独自のノウハウと充実した検証環境がありますので、これらを積極的に活用して、お客さまの課題解決に貢献していきたい」と渋谷は抱負を語った。

お問い合わせ

株式会社ネットワークルード

<http://www.networld.co.jp/>

✉ commvault-info@networld.co.jp

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11-15
住友商事神保町ビル
TEL : 03-5210-5020, 5031, 5095

関西支店 〒530-0001 大阪府北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル 24F
TEL : 06-7664-5400

中部支店 〒451-6008 名古屋市中区牛島町6-1
名古屋ルーセントタワー 8F
TEL : 052-588-7611

九州支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1
九軌筑紫通ビル 3F
TEL : 092-461-7815

*記載されている会社名および製品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。
2015年5月